

バリアフリーディスクゴルフ



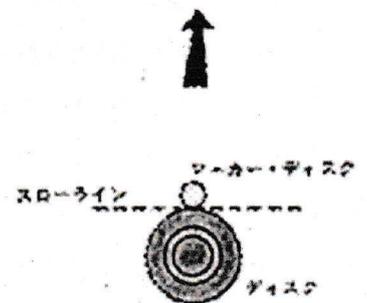
日時 12月11日(土) 9:00から 於 松山公園堀之内地区

バリアフリーディスクゴルフとは?

バリアフリーディスクゴルフはその名前のお通り、障がい者・健常者の区別なく一緒に楽しむことができます。ゴルフのボールの代わりにフライングディスク(通常のディスタンスやアキュラシーで使っているディスク)を使用し、ゴールに、何投で投げ入れることができるかを競うスポーツです。

通常のディスクゴルフのゴールとの違いは目の不自由な人に対して音を出してゴールの位置を伝えたり、ディスクがゴールしたことを音で伝えたりするためにチェーンのところに鈴が付けられているのが特徴です。

今日は細かいルールを決めないで
バリアフリーディスクゴルフをします。



バリアフリーディスクゴルフの簡単ルール

バリアフリーディスクゴルフは、ボールの代わりにディスクを投げ、ゴールに何投で入れられるかを全9ホールのトータルスコアで競うスポーツです。

- 1 1投目はティー・ラインの後ろから投げ、2投目以降はディスクが止まった地点(右上図)から投げます。
- 2 ディスクは転がしてもすべらせても、投げるとき助走しても構いません。
- 3 道路や池、花壇などにディスクが入った場合は、道路や池、花壇に入った地点から次のスローをします。
- 4 木の上にディスクが止まった場合はその真下にマークし、そこからプレイを続けます。
- 5 アキュラシーゴールでは、2投目で通過できなかった場合は、その地点からゴールを目指します。

★ 投げる順番

- 5人ずつ1組でラウンドします。1番ホールのティー・ショットはじゃんけんやくじて順番を決め、2投目以降は投数に関係なく、ゴールより遠いプレイヤーから先に投げます。
- 2番ホール以降のティー・ショットは、前のホールでスコアの良かったプレイヤーから投げます。もし同スコアの場合はさらに前のホールにさかのぼり、スコアの良いプレイヤーから投げます。

5 マナーについて

- ・ ディスクの飛ぶ範囲に、他のプレイヤーがいないか確認してから投げます。
- ・ ディスクを投げる際、他のプレイヤーは、近づいたり話しかけたりしないようにしましょう。

バリアフリーディスクゴルフ・スコアカード

第 2 組 2番スタート

日本障害者フライングディスク連盟(J.FFD)

城山花子	正 3 / 正 3	正 6 / 正 9	正 4 / 正 13	正 7 / 正 20	正 5 / 正 25	正 3 / 正 28	正 3 / 正 31	正 4 / 正 35	正 4 / 正 39	39
------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	----

ディスクゴルフのルール

1 ゲームの進め方

- ・ 投げる順番(くじやじゃんけんなど)を決め、スタートライン(ティーライン)からティースロー(第1投)を行う。
- ・ 2投目以降は、投数に関係なく、ゴールより最も遠く離れたプレイヤーから先に行う。
- ・ 2ホール目以降は、前ホールが一番良い成績のプレイヤーからティースローを行う。
- ・ 前ホールの成績が同じ場合は、その前の投順に従う。
- ・ 1ホール終了ごとにスコア(スローした数)をつける。この様にして、ホールを回り、その合計スコアを計算し、最もスコアの少ないプレイヤーが勝ちとなる。

2 スローイングについて

- ・ ティースロー時は、ティースローエリア内から足を出してはならない。ただし、スロー後は出ても良い。
- ・ パッティングにおいては、片足をマーカーディスク(そのマーカーがティラインになる)のすぐ後方に置くこと。
- ※ ゴールを中心に半径10m以内の区域をパッティング区域と呼び、このエリアはゴルフというグリーンと考えて良い。
- ・ ゴールに成功したパッティングが、前方に倒れ込みながらフオーリングパッドだった場合は、やり直しとなる。
- ・ パッティング以外のスローイングは、片足をマーカーディスクの後方に置き、もう一方は真横あるいは後方に置く。
- ・ スロー後は、マーカーディスクを踏み越えてもよい。
- ・ マーカーディスクは落下したディスクとゴールを結ぶ直線上のゴールよりに置く。ディスクは接するようにする。

3 OB(アウトオブバウンズ)について(プレー禁止区域)。

- ・ ディスクが池、川、花壇などに入った場合はOB(プレー禁止区域)となり、最後にOBラインを切った位置よりフェアウェイ側に垂直1m以内の場所でスローする。1ペナルティとなる。

4 地面から2m以上の高さにディスクが止まった場合について

- ・ そのまま地面に降ろし、ゴールに寄らない最も近い場所で再開する。1ペナルティとなる。
- ・ ディスクが地面から2未満の高さにあるときは、そのまま地面に降ろし、ゴールに寄らない最も近い場所で再開する。ペナルティはなし。

5 ラウンドのスタートから最後のホールを終えるまでに、練習スローやゲームに関係のないスローをした場合は、1ペナルティとなる。

6 障害物について

- ・ コース上に固定された障害物は、動かしたり、曲げたり、変えてはならない。
- ・ コース上に固定されていない、また、コース上関係ないものは取り除くことができる。落ち葉・小枝・空き缶・他プレイヤーの道具など。水たまり等は含まれない。
- ・ 動かすことができない場合は、ゴールに近づくことのない位置で再開する。この場合、ペナルティは発生しない。

7 マナーについて

- ・ ディスクの飛ぶ範囲に、他のプレイヤーがいないか確認してから投げる。
- ・ ディスクを投げる際、他のプレイヤーは近づいたり、話しかけたりしない。

以上2点を確認してから投げる。

- ・ ホール終了後は、すみやかに他のホールに移動する。